特定健診や今後の保健師活動の重要性を話し合う

府市町村保健師協議会総会・研修会

府市町村保健師協議会総会と研修会は、平成２０年５月２２、２３日の両日、府国保連合会に、延べ８２人の保健師が集まって開催された。主催者を代表して、舞鶴市児童・障害福祉課の霜山美穂会長が挨拶をし、今年の４月からの医療制度改革による「特定健康診査・特定保健指導」について触れながら今後の保健師活動の方向性を示した。

議事に入り平成１９年度事業報告、同決算報告、平成２０年度事業計画、同予算案について説明し、原案どおり可決・承認された。

続いて、社団法人地域医療振興協会ヘルスプロモーション研究センター長の岩室紳也氏が「保健師活動のためのヘルスプロモーションとは」をテーマに講演した。

２日目午前は、京都府福知山児童相談所長、早樫一男氏が「家族の理解と実践的アプローチ」～日常業務を通して家族をとらえる視点を身につける～、午後からは「子供の発達支援を考える ST の会」代表、兼 NPO 法人「ことのはサポート」副理事長でもある言語聴覚士の中川信子氏が「子どもと親を支える健診」～子育て力アップのために～をテーマにそれぞれ講演した。